

(一五七三)

三 (天正元年)八月 白井城主長尾憲景より吉江喜四郎あて書

状〔C〕

急度奉^{きつと}言上^{いんじやう}候、南衆出張^{なんしゆうでばり}之由申候間、一昨廿八沼田へ申届候
キ、今日朔日如^{わうしきたる}ニ申来^ま者、氏政陣所之儀承届、奉^{ちゆうしん}ニ註進^{しゆしん}候、定^{さだめ}而
厩橋此口へ之可^か為^なレ動奉^{うご}存候、急度御越山^{えつざん}乍^はレ恐奉^{おそ}レ待候、敵方
之様子北条丹後守可^かニ申上^ま候、此段可^かレ然様可^かレ預^あニ御披露^{ごひろう}候、

恐々謹言

長尾右衛門尉

(天正元年)
八月朔日

憲^{のり} 景^{かげ}
(花押)

吉江喜四郎殿